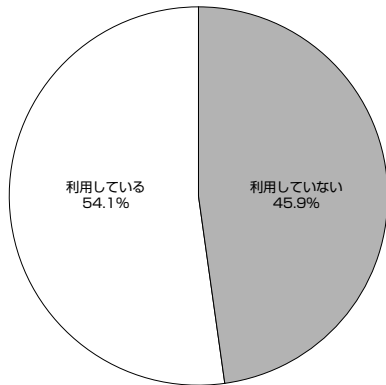


第3章 携帯電話/PHS利用者

情報サービス①

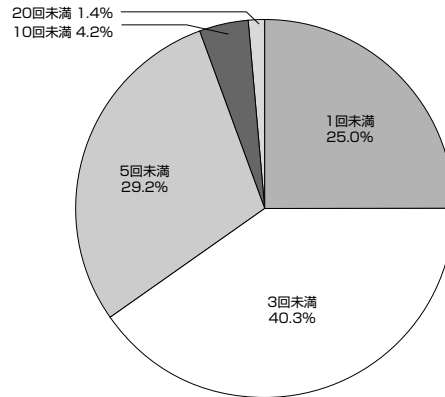
過半数が情報サービスを利用

資料1-3-14 携帯電話/PHSによる情報サービスの利用有無 N=133



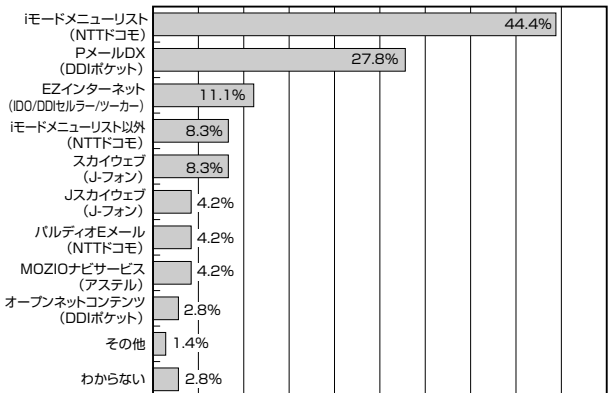
インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料1-3-15 1週間当たりの情報サービスの利用頻度 N=72



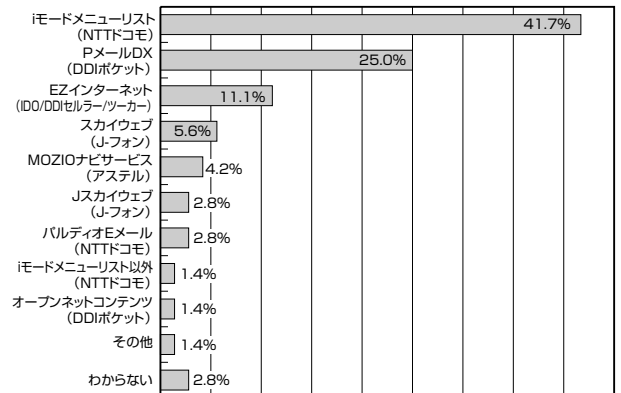
インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料1-3-16 携帯電話/PHSで利用している情報サービス (複数回答) N=72



インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料1-3-17 最もよく利用する情報サービス N=72



インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

解説

メールサービス同様、携帯電話/PHSで利用している情報サービスについても聞いている。

情報サービスの利用率(資料1-3-14)は回答者の54.1%と過半数を占めており、性別では女性より男性が、また年代的には30代で利用率が高くなっている。

情報サービスの利用者に対して、1週間当たりの利用頻度を聞いたところ、「3回未満」(40.3%)、「5回未満」(29.2%)、「1回未満」(25.0%)と利用にはばらつきがみられた(資料1-3-15)。

利用している情報サービスを複数回答として、さらにその中で最もよく利用する情報サービスを単数回答で聞いている(資料1-3-16~17)。

ここでもメールサービス同様「iモードメニューリスト」が44.4%(複数回答)と高く、他を引き離している。前述のよう

に契約会社では「NTTドコモの携帯電話」が59.4%であったが、メールサービスや情報サービスの利用では相対的に契約会社がNTTドコモ以外の利用者の利用率が高い。iモード以外のNTTドコモの利用者が携帯電話を通話中心で利用する傾向にあるのに対して、NTTドコモ以外の利用者では付加価値サービスが契約会社の選択の際にも大きな理由となっていることがうかがえる。

情報サービスの2位には「PメールDX」が、3位には「EZインターネット」が挙げられているが、最もよく利用する情報サービスとしてでも複数回答の利用情報サービスとしてでも上位の順位は同じ傾向であった。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp